

## お陰様で設立24年

### 感謝の思いを込めて商品創りを、、、！

(株)アドバックスは、昭和63年12月9日に設立いたしました。

ペット業界初の「ペット用リンスインシャンプー」を企画、商品化しての船出でした。

が、設立者は、その1年後の年号が変わった平成元年12月19日、脳梗塞で倒れ、以後9年と1週間の闘病生活に入りました。

前向きで明るく快活だった設立者のそれは「健康」がもたらしていた賜物であったと、改めて思い知りました。

アドバックス存続の危機。設立者と共に会社を創り上げ、盛り上げて行こうと、張り切っていた社員は「回復まで待つ」「それまで社長代行の奥さんと頑張ります。頑張りましょう！」と、私を励ましながらいって下さいました。集中治療室の設立者の姿は「社会復帰」には、程遠い状態でした。

社員には、家庭と家族があります。社員の言葉の後に家族の姿が浮かび、見えました。

私は「能力」のある社員は、どこでも採用されて充分働く事が出来る。少しでも早く家族が安心出来る様にしなければいけない。と思い、決断いたしました。「退職していただきます！」

そして設立者であり、夫の「志」の一端を叶えられたら、一日でも、一時間でも、一分でも「アドバックス」を存在させたい。の唯ひとつの思いで、専業主婦の立場から事業を引き継ぐ事を決めました。

家族の猛反対は勿論、私自身も無謀な事と分かっていました。が、何があっても「独りで背負う」の決意を持っての出発でした。

それから、現在まで商品企画・デザイン・キャッチコピー・商品説明の一語一句を心を込めて独りでいたしております。「珍しい会社」のアドバックス。です。

引き継いだ当初、「業界用語」も業界の仕組みも分からず、商談が商談にならなかつたり、きっと、陰で皆さんは笑っていらしたと思います。それが分かりました。そして帰路、私は泣きました。

夫に恥をかかせている様な、申し訳ない気持ちと自分自身の不甲斐なさが、混ぜこぜになった涙でした。

設立者の夫の創った商品は「シャンプリン」と名付けられていました。私がこの様な立場になる事も知らないで複数候補の中から、私が選んだ名前でした。

アドバックスが浮沈の極みを漂っている間に、大手メーカーさんが相次いで「ペット用リンスインシャンプー」を発売しました。アドバックスは後発メーカーの印象になってしまいました。

そして、販路として開拓してあった問屋さんからは「業界を知らない様な人とは、心配で取引は出来ない！」と扉を次々閉ざされました。

それでも全国の問屋さんには電話をかけ、サンプルを送り導入して下さいようにお願いをいたしました。が、どちらからも相手にしていただけませんでした。

夫の在宅介護と慣れない仕事で、ドクターストップが掛かりました。虚しさが心に沁みました。

それでも、商品を認めて下さる問屋さんから、量販店さんへと少しずつ、ゆっくりと広がって行きました。

その喜びを夫に伝えても、夫は分かりません。自分が創った会社の事も、記憶の中から消えてしまっていたから。私は、伝える事で記憶が呼び戻せるのではないかと、アドバックスの様々な事を「報告」いたしました。

平成4年4月「うさぎは可愛いけど、臭い！」の声に「臭い！」を取り除いて「可愛いうさぎさん」になれる様に、国内初の「うさぎ専用シャンプリン」を発売。「うさぎは洗ってはいけない」の慣習の中、大きな反響と共にうさぎのオーナー様からの「うさぎの特徴をよく捉えた商品」との好評を得た事と併せて、お手紙、電話、FAXでも同様のご感想をいただきました。

「うさぎ専用・シリーズ」はシャンプリン・ブラッシングブラシ・水気取りブラシ・前足専用つめ切り・後ろ足専用つめ切りなど、発売まで4年を要しました。うさぎを3羽飼って、生態・行動を見続けながら完成させました。「商品」を世に送り出す事は容易な事ではありません。まして、言葉を話す事が出来ないペットに使う。それ以前に、オーナー様に安心してお求め頂けなくてはなりません。

ペットに安心な事は、人にも安心な事、が基本と思います。

私は、アドバックスを引き続きでから、美容院に行った事はありません。パーマをかけない。染めない。(カットは自分で適当に切る) 何故なら、新商品の企画のサンプル作製して、先ず私がテストをするからです。全商品のテストをして参りました。髪、皮膚(肌)で基本反応を知る為です。ペットの被毛・被膚は異なりますが、微妙な感覚で違和感を感じたら、サンプルから排除していきます。

選ばれた中から、さらにペットの皆さんの協力を得て、お届け出来る「商品」が誕生いたします。

「創造性豊かなより良い商品を提供する」の「志」を引き続きだ私の使命として、これからも続きます。

何よりも、商品創りに関わってくれている犬・猫・うさぎのみなさんに感謝いたしております。

平成バブルが弾けて、アドバックスは2度目の危機に遭遇いたしました。

「すみません、少しですけれどシャンプリンを送って下さい」その様なお客様からの直接のご注文を数多く頂きました。数的な事ではなく、アドバックスの商品をご理解、ご支持下さるお客様がいて下さる。これ程の大きな支えなく、私に励ましと勇気を頂きました。その時があつての今。感謝の思いは変わりません。今では、ペット専門店・インターネット通販様から商品をお届けさせていただいております。

が、様々、数々のペット用品の中から、アドバックスの商品をお選び頂いております事に、直接、お礼を申し上げる事は出来ませんが、日々、感謝の思いで一杯でございます。

この年、「うさぎ年」は思いがけない事が重なりました。

被災ペット・犠牲ペットの問題は未解決のままとなっております。心痛む事でございます。

今、オーナー様の懐に抱かれて、温かく過ごすペットの皆さんが、より良い環境とケアの下で過ごせる様な商品創りを一層心がける事がメーカー・アドバックス努めと思います。

平成10年12月24日 クリスマスイブの朝。

アドバックス設立者は永眠いたしました。

まもなく、その日が参ります。

設立25年に向かって、

「創造性豊かなより良い商品を提供する」の「志」と「感謝」を忘れる事なく、商品創りに努めて参ります。

平成23年12月

株式会社 アドバックス

代表取締役 芹澤 陽代



